

市内各地で行われたイベントや、
まちの話題をお届けします。
ここで“なかゆくい”しませんか。
(なかゆくい=ひと休み)



市ホームページ「うらそえボックス」
にも市内のできごとを紹介しています。



1/27 「統計の日」イベントで大臣表彰をダブル受賞

10月18日の「統計の日」にあわせて、統計の普及や活用を資することを目的に、統計調査の実施や普及等に功績のあった個人や団体を表彰する「令和6年度沖縄県統計功績者表彰伝達式」が沖縄県教職員共済会館八汐荘で行われました。

総務大臣並びに農林水産大臣表彰をダブル受賞した中曾根米子さんは、これまで国勢調査や漁業センサス、全国家計構造調査など多くの統計調査員として活動しており、中曾根さんは「40年近く、楽しく調査員として携わっています。人と触れ合うことが好きで、地域との関わりの中で調査員として調査を行うことはやりがいの一つと感じており、受賞を大変嬉しく思います」と話しました。



2/8 浦添市教育委員会表彰式

浦添市教育委員会表彰式がアイム・ユニバース てだこホールで開催されました。毎年2月の第2土曜日を「浦添市教育の日」と定め、学校生活で他の模範となり、スポーツや文化活動で優秀な成績を収めた児童・生徒や、本市の教育、文化、学術の振興発展に貢献した個人・団体を表彰しており、今年は503人に賞状が授与されました。

部活動やボランティア活動など学校内外での活躍が認められた吉野海秀さん(神森中3年)は、代読による代表あいさつの中で「私には得意としているものはないが、挑戦する力を活かしてさまざまな活動に積極的に取り組んできたことが、今回の表彰につながったのだと思う。高校へ進学しても、周りへの感謝を忘れず全力を尽くしたい」と話しました。



1/21 「紅いもム〜ちもなか」発売で教育長を表敬

浦西中学校3年生の久高麗愛さん、仲宗根桃里さん、儀部杏奈さんが昨年度の探究活動で立案した企画が、成果報告会に参加した御菓子御殿に大絶賛され、「紅いもム〜ちもなか」として発売されました。「沖縄のお土産をもっと魅力的にしたい」という思いが実現し、記者会見時には、商品をPRするため「三忍(サンニン)の葉と掛けている」という新たなオリジナルキャラクターの提案も行いました。

銘苅教育長を表敬訪問した3人は「商品化が実現して感動!キャラクターも活用されて嬉しい!」と熱く語りました。銘苅教育長は「豊かな発想が形になり素晴らしい。これからも『ム〜ち〜バージョン』を高め、夢に向かって頑張ってください!」と激励しました。



制作過程などのパネルを展示中!▶

1/23 浦添前田駅が憩いの場になるように

浦添工業高校インテリア科3年の生徒8人が卒業作品として制作したベンチの寄贈式が、浦添前田駅で行われました。

このベンチは、3両編成車両の沖縄都市モノレールを搬入した際に使用された廃木材を使用し制作されたもので、環境にも優しいベンチとなっています。生徒を代表して、玉城真生さんは「たくさんの人にベンチを使ってもらえる、やりがいを感じることができるので、ポロポロになるまでたくさん使ってください」と話し、浦添前田駅の賑わい創出に期待を膨らませていました。

ベンチ横には、制作過程や制作時の様子をパネル展示しています。皆さんも、浦添前田駅に新たに誕生した憩いの場を活用してみてください。



1/19 多言語が飛び交う新春スポーツ大会

県内に住む外国人と地域の人々が、スポーツを通して、国際交流・国際親善・多文化共生への理解を深めることを目的に、浦添市国際交流協会主催の新春スポーツ大会がJICA沖縄で初開催されました。開会式では、ゆいゆいキッズシアターによるダイナミック琉球の演舞から始まり、参加者全員で英語のラジオ体操を行いました。

綱引き、玉入れ、巨大オセロなどのチームワークが問われる種目や個人の活躍が発揮できる障害物リレーが行われ、参加者からは「久々に玉入れをしたが難しかった」「学校のルールと違って新鮮だった」との声がありました。国を超えて、老若男女、多くの参加があり、友情が育まれる笑顔あふれるスポーツ大会となりました。



1/20 防災講座で自治会長が HUG を体験

災害時における避難所運営や各種対応能力、当事者意識の向上を目的として、中央公民館主催で市役所8課と協力を図り、市内の各自治会長らを対象に「避難所運営ゲーム(HUG)」を使った防災講座が市役所9階ロビーで行われました。

ゲームには、避難所で起こりうるさまざまな状況が盛り込まれ、参加者は制限が多い中でどう対処するか、判断力、調整力を発揮し、悩みながら対応していました。

参加者からは「課題がたくさん見つけられ、大変勉強になった」「自分事として考えることが大切」「複数の校区の自治会で話し合うことが必要」などの声があり、防災意識を高めることができた講座となりました。



1/21 琉球漆器で、くわっちーさびら

学校給食の意義や役割について、児童生徒や教職員等へ理解と関心、より一層の充実発展を図ることを目的に定められた「全国学校給食週間」にあわせて、前田小学校6年生を対象に琉球漆器と琉球料理についての講話と、市長や教育関係者と給食を食べる交流会が行われました。講話を聞いた児童からは「漆器は昔から作られてきたものだから大切にしたい」、「毎月第三木曜日が琉球料理の日になっていることを初めて知った」などの感想がありました。給食の時間では「イナムドゥチ・黒米ご飯・ミヌダグ・ミミガーの酢味噌和え」といったその日の琉球料理の献立を琉球漆器によそい、市長らと話をしながら給食を楽しんでいました。